

第十四回五色百人一首 神奈川県相模原大会

主催：T O S S五色百人一首神奈川県支部

後援：相模原市教育委員会 大和市教育委員会 川崎市教育委員会 三浦市教育委員会 横浜市教育委員会
 横須賀市教育委員会 伊勢原市教育委員会 藤沢市教育委員会 平塚市教育委員会 海老名市教育委員会
 小田原市教育委員会 綾瀬市教育委員会 逗子市教育委員会 茅ヶ崎市教育委員会 座間市教育委員会
 葉山町教育委員会 厚木市教育委員会 松田町教育委員会 大磯町教育委員会 真鶴町教育委員会
 南足柄市教育委員会 開成町教育委員会 愛川町教育委員会 湯河原町教育委員会 中井町教育委員会
 清川村教育委員会 寒川町教育委員会 大井町教育委員会 箱根町教育委員会



言葉を大切にしてきた私たちの祖先が残してくれた文化を大切にす貴会こそ21世紀に光っていく存在であり、日本の伝統を守る人たちです。

皆様のご健勝とこれからの活躍を祈りメッセージとさせていただきます。

(相模原市議会議員米山定克氏からの祝電)



2016年1月17日(日)
於 相模原市立総合体育館

参加者 150名！ 第十四回大会開催

今年も多くの協賛店、ボランティアの皆さん、参加いただいた皆さんのおかげで大会を開催することができました。

神奈川県内では、色別大会を相模原を含めた五会場、五色大会を横浜で行い、全六会場で開催しました。相模原では、75名の子どもたちがエントリー。引率の保護者の方を含めると、150名の参加でした。

8年連続出場者が後輩たちへ伝えたメッセージ

百人一首大会理事の教え子、田畑夏葉さん(高校一年生)が高学年出場者たちへメッセージを伝えました。「百人一首に取り組んで身に付いたことが三つある。一つは「集中力」。部活の剣道と弓道を行う上で百人一首で培った集中力が役立った。

次は「古典」。中学高校で学習する古典をする前から百人一首で慣れてきた。だから古典に親しみを感じ、学習が楽しくなった。最後は「負けない自信」。同輩や先輩に対して「自分はこれだけは負けない」というものを持っている人は強い。私にとりてそれが百人一首だった。その自信が勉強やスポーツで頑張ることにつながった。自分に対して自信がついていた。田畑さんは小1から中2まで八年連続しました。自身でも「大会で優勝はできなかったけどそれでも八年間出場続けた。だから自信がついた」と述べています。実感のこもった話に高学年の参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



多数の参加者や試合の様子

開成式で協賛企業を

紹介しました！

今回の大会運営には、多くの企業の協賛をいただきました。参加費やトロフィーなどを購入しました。

大会パンフレットに協賛企業を紹介しています。開成式では、多くの方々の協力で大大会を運営できたことを参加の皆さんに紹介しました。

大会結果



低学年の部	優勝	前田	啓輔
	準優勝	山田	紗世
高学年の部	優勝	森田	瑠奈
	準優勝	平山	釉月

高学年入賞者



低学年入賞者



参加者の感想～アンケートより抜粋～

- ◆ベスト8止まりは悔しい。また来年来ます。高校生になったらボランティアやります。(中2)
- ◆いつもは予選で負けてしまうけれど決勝まで行けてよかった。まったく悔いがない。逆にとても楽しかった。最初に百人一首をやった時と比べると、とても強くなったと思う。(小5)
- ◆百人一首の大会を初めて拝見しましたが、子ども達の真剣さと集中力がすごかったです。きちんと挨拶ができる子が多いのにも感謝しました。(保護者)
- ◆以前住んでいた県では、大会は1年に1回しかありませんでした。神奈川県では、多くの先生方の力で数多くの大会が催され、子どもにとってはいろいろな体験をすることができ、とても感謝しています。(保護者)